平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	戸籍等データ移行事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	3	1	○
政策	41計画の実現のために	担当課室	市民課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	新城　富美江			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	無し	③平成30年度に取組む改革・改善内容	無し
②①に基づく取組み結果	無し		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	電算化された戸籍等	意図（対象をどうするのか）	データの移行
②事務事業の概要	電算化された戸籍等のデータを新たな事業者に移行する。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	電子環境及び戸籍事務の安定的な運営が必要となる。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果：鎌ケ谷市で管理する電算化された戸籍、同附票、除籍、同除附票（平成11年10月2日に紙戸籍を電算化）電算化現戸籍32，741件、同附票32，741件、除籍10，204件、同除票10，204件、全体85，890件、 上記のデータ移行を完了させた

②成果を表す指標

	指標名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠
i	本籍人口数	83,317	83,870	84,360	件	システムによる本籍人口数
ii						
iii						

③事務事業のコスト

	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳 金額（千円）	内容	平成30年度予算
事業費（千円）	0	37,985			0
国支出金（千円）			19,100	総合戸籍データ移行委託	
県支出金（千円）			15,120	新総合戸籍データ移行委託	
市債その他（千円）			799	戸籍住民記録データ連携システム改修委託	
一般財源（千円）		37,985			

Ⅳ　評価・検討

①課題	データ移行後、最適な電子環境を維持するとともに戸籍事務に係る正確性を確保する必要がある。					
②評価	ⅰ市関与の妥当性	3高い	ⅲ公平性	3高い	ⅴ総合評価	1終了
	ⅱ有効性	3高い	ⅳ効率性	3高い		
③上記評価の理由	新事業者への戸籍等のデータ移行が完了し、サポート体制の充実、システムの操作性の簡素化を実現したため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成29年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成29年度の計画	電算化された戸籍等のデータ移行	計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績	戸籍等のデータ移行完了	38,769	38,769	当初	38,769	37,985	H28からの繰越
③達成状況	完了			H28⇒29繰越			現年分 37,985
④未完了・非着手の理由				補正			
				流用・充当			
		平成30年度への繰越額（単位；千円）	0				